

# 倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体の 活動状況等に関するアンケート報告書

## 調査の概要

- |         |   |
|---------|---|
| 1 調査目的  | このアンケートは、市内に活動拠点をおく市民活動団体の活動状況等を把握することで、団体の現状や運営上の課題を明確にし、本市における市民活動団体の活動支援策の検討資料として活用するものです。   |
| 2 実施主体  | 倉吉市（市民生活部地域づくり支援課）  |
| 3 調査期間  | 令和5年10月1日（日）から10月20日（金）まで   |
| 4 調査対象  | 倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体  |
| 5 調査項目  | <ul style="list-style-type: none"><li>・団体の概要について（問1～8）</li><li>・活動の支援について（問9～11）</li><li>・協働のまちづくり助成事業について（問12）</li><li>・その他（問13）</li></ul> |
| 6 調査方法  | アンケート【回答書】に記入のうえ、郵送またはメールで回答  |
| 7 調査結果  | 比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。  |
| 8 調査回収率 | 36.3%（回答33団体／調査91団体）<br>（前年度比2.2ポイント減 ※前年度調査回収率：38.5%）  |

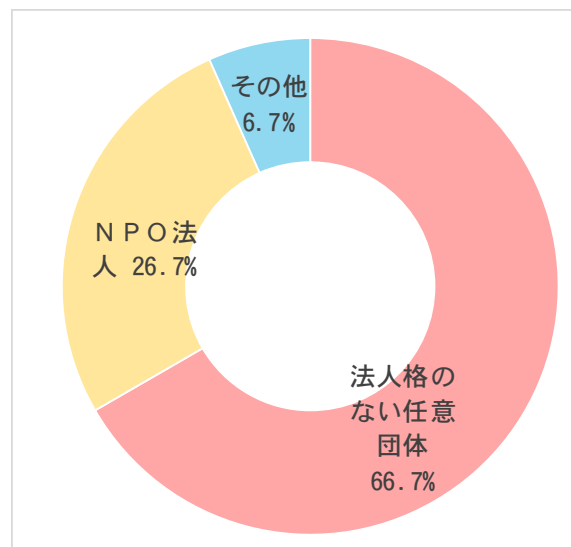
団体の概要について

貴団体の概要（団体種別）について、ご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	法人格のない任意団体	10	66.7%
2	NPO法人	4	26.7%
3	一般社団・財団法人	0	0.0%
4	その他	1	6.7%
	合計	15	100.0%

団体の概要（団体種別）については、「法人格のない任意団体」（66.7%）が最も高くなっている。

- 地元住民や既存の地域団体、特定の趣味や課題意識などを共有する仲間により構成された法人格のない団体（NPO やサークルなど）が多く存在している。



問1 活動分野について、あてはまる番号に「○」（複数回答可）、特に中心となる活動に「◎」（1つ）をご記入ください。

項目番号	選択項目	◎回答数	構成比	○回答数	構成比
1	高齢者支援	3	14.3%	3	4.3%
2	障がい者支援	3	14.3%	7	10.0%
3	子育て支援	1	4.8%	6	8.6%
4	福祉・健康増進	0	0.0%	8	11.4%
5	医療支援	0	0.0%	0	0.0%
6	社会教育	0	0.0%	7	10.0%
7	まちづくり	3	14.3%	10	14.3%
8	学術・文化・芸術	4	19.0%	3	4.3%
9	スポーツ	1	4.8%	1	1.4%
10	環境保全	2	9.5%	5	7.1%
11	災害救援	0	0.0%	3	4.3%
12	地域安全	0	0.0%	4	5.7%
13	人権擁護・平和推進	0	0.0%	1	1.4%
14	国際協力	0	0.0%	2	2.9%
15	男女共同参画	0	0.0%	3	4.3%
16	子どもの健全育成	3	14.3%	6	8.6%
17	デジタル化	0	0.0%	0	0.0%
18	科学技術	0	0.0%	0	0.0%
19	経済振興	0	0.0%	0	0.0%
20	職業能力開発・雇用	0	0.0%	0	0.0%
21	消費者保護	0	0.0%	0	0.0%
22	その他	1	4.8%	1	1.4%
	合計	21	100%	70	100%

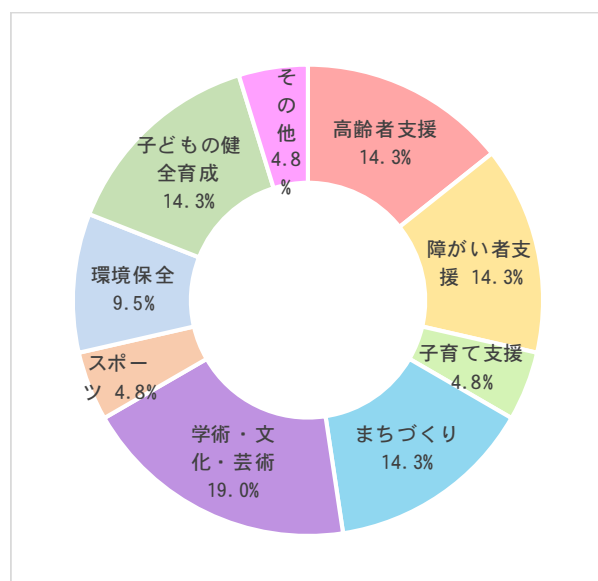
\* その他（自由記載）

- ・団体の活動内容が多岐に渡るため分野が広がっています
- ・不登校の児童、生徒に USA 在住の友人ボランティア英語講師をしていただく（一時帰国時）、書道教室

活動分野（特に中心となる活動に「◎」）については、「学術・文化・芸術」（19.0%）が最も高くなっている。

活動分野（あてはまる番号に「○」）については、「まちづくり」（14.3%）が最も高く、次いで「福祉・健康増進」（11.4%）、「障がい者支援」（10.0%）、「社会教育」（10.0%）となっている。

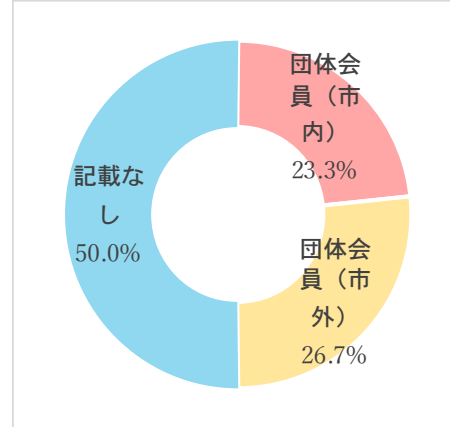
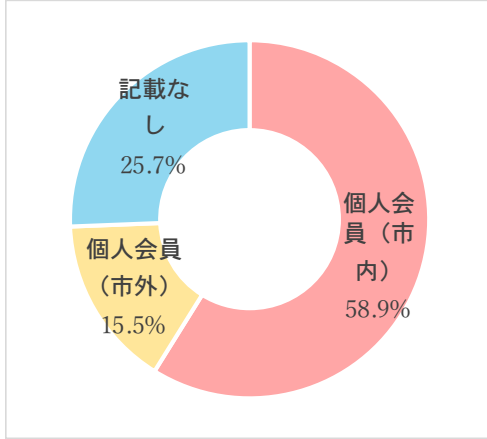
- 本市においては、学術・文化・芸術に関する活動を主軸に行う団体の割合が最も高いが、まちづくり、障がい者支援、社会教育など多岐にわたる活動が盛んに行われている。



問2 会員数について、ご記入ください。

項目番号	選択項目	会員数	構成比
1	個人会員合計	608	100.0%
	うち市内	358	58.9%
	うち市外	94	15.5%
	内訳記載なし	156	25.7%

項目番号	選択項目	会員数	構成比
2	団体会員合計	30	100.0%
	うち市内	7	23.3%
	うち市外	8	26.7%
	内訳記載なし	15	50%



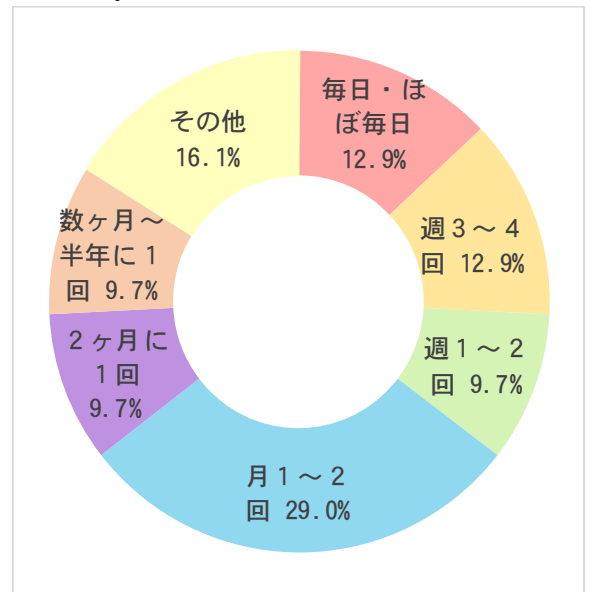
- 個人以外にも地域企業や関係団体などによる市民活動団体への参画や支援が行われている。回答数の減少もあるが、昨年と比較すると回答のあった団体の会員合計数は300人近く減少しており、会員の高齢化に伴う脱退や新規会員の獲得が困難な状況だと考えられる。

問3 活動の頻度について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	毎日・ほぼ毎日	4	12.9%
2	週3～4回	4	12.9%
3	週1～2回	3	9.7%
4	月1～2回	9	29.0%
5	2ヶ月に1回	3	9.7%
6	数ヶ月～半年に1回	3	9.7%
7	その他	5	16.1%
	合計	31	100.0%

\*その他(自由記載)

- ・毎年、4月から9月の第3日曜日に活動。6回行う。
- ・事業毎に別途計画 ・事業毎に別途計画
- ・月3回必ず ・活動内容により回数未定



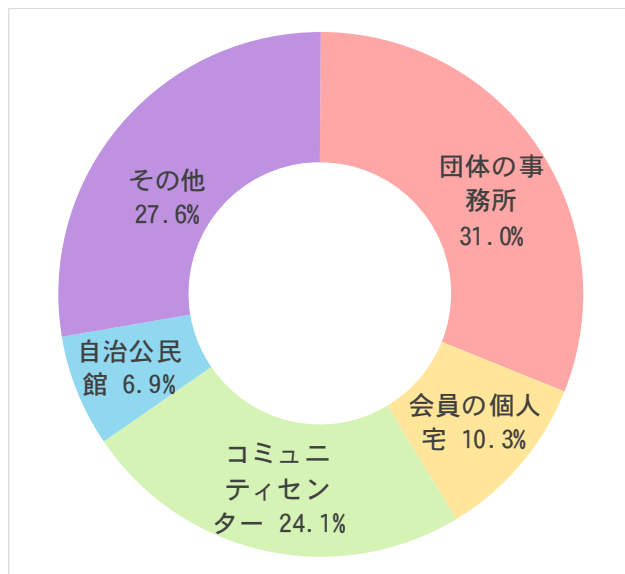
- 「月1～2回」の割合が29.0%と最も高いが、前年度と比べると6.3%減少している。また、「毎日・ほぼ毎日」「週3～4回」「週1～2回」の割合は35.5%と昨年比9ポイント増加しており、活動や団体を維持するため、団体の性質などに応じて無理なく負担なく続けられる頻度で活動を実施している。

問4 主な活動拠点について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	団体の事務所	9	31.0%
2	会員の個人宅	3	10.3%
3	コミュニティセンター	7	24.1%
4	自治公民館	2	6.9%
5	その他	8	27.6%
	合計	29	100.0%

\*その他（自由記載）

- ・主となる拠点は持っていない
- ・倉吉文化活動センター（リフレプラザ）
- ・対象空き家等
- ・倉吉福祉センター
- ・湯命館
- ・法人の施設事務所
- ・地域の里山



- 主な活動拠点については、「団体の事務所」が31.0%で最多となっており、昨年より0.7ポイント増加、「コミュニティセンター」「自治公民館」は10ポイント増加している。「会員の個人宅」は7.9ポイント減少しており、活動拠点について個人の負担が少ない場所へ移行していると考えられる。

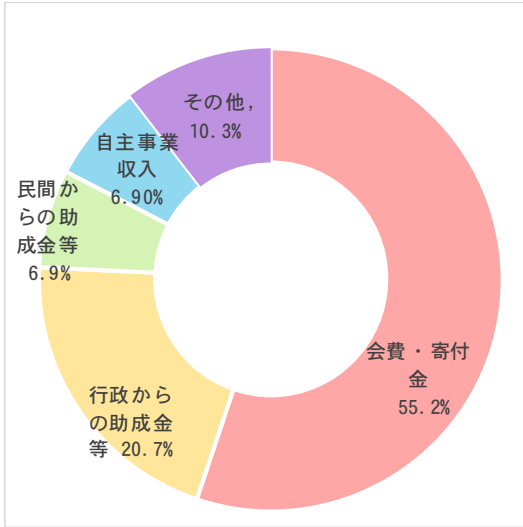


問5 主な収入源として、大きい順から①、②、③の番号をご記入ください。

項目番号	選択項目	①回答数	構成比	②回答数	構成比	③回答数	構成比
1	会費・寄付金	16	55.2%	5	29.4%	2	18.2%
2	行政からの助成金等	6	20.7%	8	47.1%	1	9.1%
3	民間からの助成金等	2	6.9%	1	5.9%	1	9.1%
4	自主事業収入	2	6.9%	2	11.8%	6	54.5%
5	借入金	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%
6	その他	3	10.3%	0	0.0%	1	9.1%
	合計	29	100.0%	17	100.0%	11	100.0%

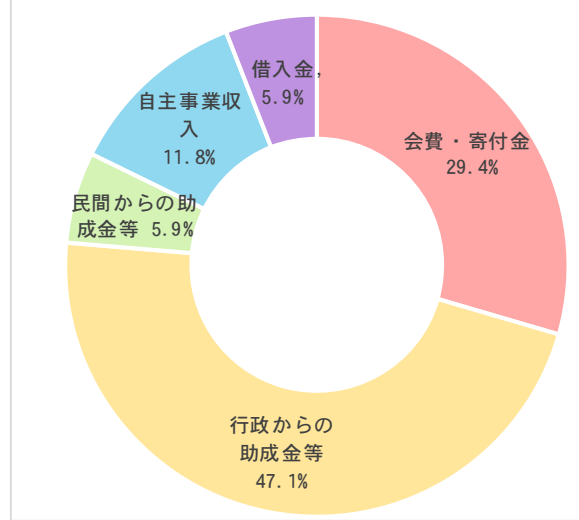
\* その他（自由記載）

- ・ サービス利用料国保連
- ・ 収入源なし
- ・ 自己負担
- ・ 団体の募集申請公募による助成金等、花壇の整備

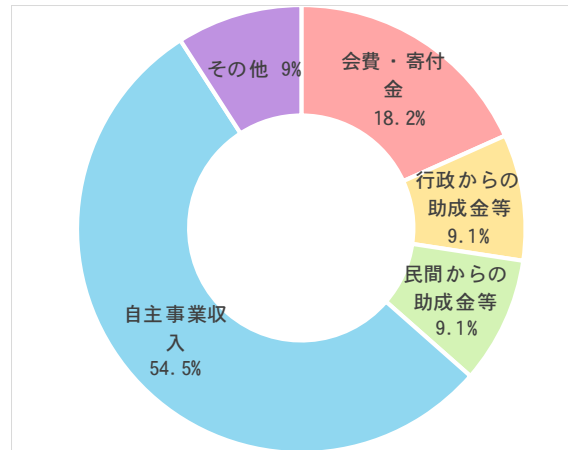


主な収入源（最も大きいもの①）については、「会費・寄付金」が最多の55.2%となっている。

主な収入源（3番目に大きいもの③）に関しては自主事業収入が最多の54.5%となっている。



主な収入源（次いで大きいもの②）については行政からの助成金が最多の47.1%となっている。



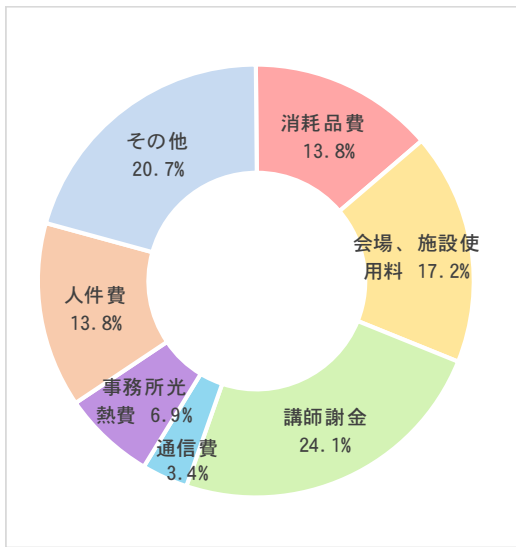
➤ 収入源として大きい順から回答していただいたが、概ね「会費・寄付金」「行政からの助成金等」「自主事業収入」が市民活動団体の収入源となっている。行政以外にも民間企業や財団による助成金の制度があるものの、「民間からの助成金等」は全体として低くなっている。団体の取り組みや目的に応じて、官民が行う助成制度を効果的に活用し、必要に応じて予算を確保することが求められている。問6 支出が多い費用について、大きい順から①、②、③の番号をご記入ください。

い。

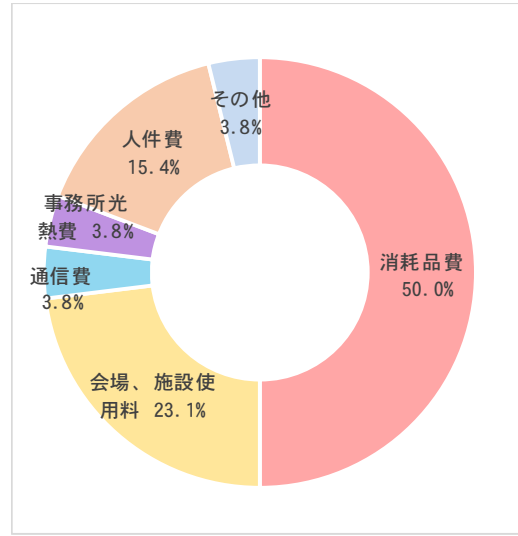
項目番号	選択項目	①回答数	構成比	②回答数	構成比	③回答数	構成比
1	消耗品費	4	13.8%	13	50.0%	3	12.5%
2	会場、施設使用料	5	17.2%	6	23.1%	5	20.8%
3	講師謝金	7	24.1%	0	0.0%	2	8.3%
4	調査研究費	0	0.0%	0	0.0%	2	8.3%
5	通信費	1	3.4%	1	3.8%	7	29.2%
6	事務所光熱費	2	6.9%	1	3.8%	0	0.0%
7	事務所賃借料	0	0.0%	0	0.0%	2	8.3%
8	人件費	4	13.8%	4	15.4%	2	8.3%
9	その他	6	20.7%	1	3.8%	1	4.2%
	合計	29	100.0%	26	100.0%	24	100.0%

\* その他（自由記載）

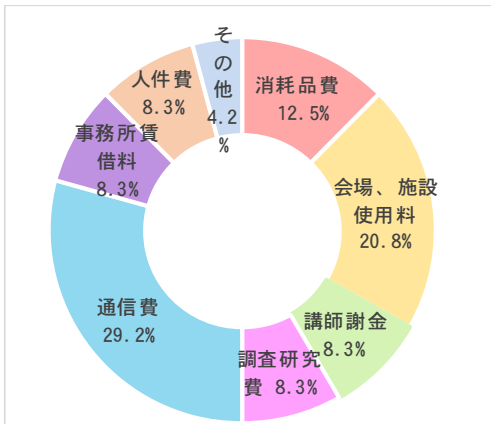
・草刈り機の燃料代 ・楽器、楽譜 ・図書費（朗読で使う図書）個人持ち ・燃料費



支出が多い費用（最も大きいもの「①」）については、「講師謝金」（24.1%）が最も高くなっている。（その他の記述は上記のとおり）



支出が多い費用（2番目に大きいもの「②」）については、「消耗品費」（50.0%）が最も高く、次いで「会場、施設利用料」（23.1%）となっている。



支出が多い費用（3番目に大きいもの「③」）については、「通信費」（29.2%）が最も高く、次いで「会場、施設利用料」（20.1%）となっている。

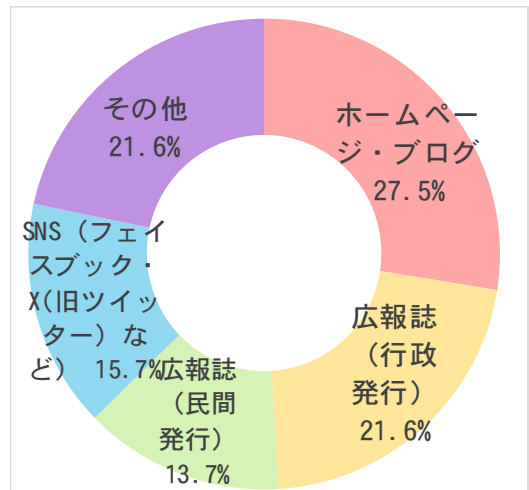
➤ 団体によって最多支出科目にばらつきがあるものの、「会場、施設使用料」の支出に占める割合は一貫して高い。問4での回答より、活動拠点が個人宅から公的施設へ移行している傾向があることが、この結果に関係していると考えられる。

問7-1 団体に関する情報（PR、事業の周知など）をどのようにして収集していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください（複数回答可）

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	ホームページ・ブログ	14	27.5%
2	広報誌（行政発行）	11	21.6%
3	広報誌（民間発行）	7	13.7%
4	SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）	8	15.7%
5	その他	11	21.6%
	合計	51	100.0%

\* その他（自由記載）

- ・他のボランティア団体
- ・直接訪問
- ・会員・クラブネットワーク
- ・会員間の情報交換
- ・つながりのある団体
- ・活動日、内容を入り口窓に表示
- ・市立図書館やライトハウス（米子）からの情報提供
- ・会員内から



団体に関する情報の収集については、「ホームページ・ブログ」（27.5%）が最も高く、次いで「広報誌（行政発行）」と「その他」が同率（21.6%）となっている。（その他の記述は上記のとおり）

- 昨年最多だった広報誌（行政発行）が5.4ポイント減少し、「ホームページ・ブログ」「SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）」のインターネット媒体の割合が43.2%と増加した。ネット環境の浸透に伴い、情報収集の仕方も多様化しているが、同様に会員、活動団体間の情報共有も一つの情報源となっていることがうかがえる。

問7-2 情報収集にあたり、お困りごとがありましたらご記入ください。

- ・最近当団体と類似した活動団体が複数ありますが、その団体の活動状況や構成がよく分からずアプローチできない
- ・資金調達情報（理由：活動資金が年約20万円なので、清掃用具等の補充困難（胴長靴、講師謝金））
- ・管理区域において、行政が何かしら工事等が発生した時は、樹木、花等景観に支障が生ずる際は会議・打合せがあれば、その会等に出席させていただきたい。
- ・助成事業の発信に対して、あまり受信していない
- ・ホームページ上（ウェブ上）に無い地域の情報が入りにくいです。
- ・団体の長（責任者）に行政等からの情報を受け取るが全会員に周知するのが難しい
- ・活動の場は個人所有居宅で使用料、支払い不可能。せめて光熱水費、固定資産税等に相当する助



成はできないのでしょうか。団体として高齢者の孤立を防ぎ、生徒児童の学習支援の場を設けたり、日常的に役割を果たしている。方策を教えてください。

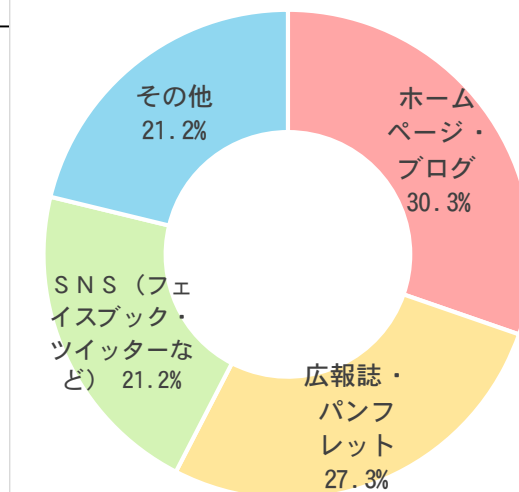
- ・とりあえず必要なことは7-1の項で足りていると思います。ただ、ホームページ・ブログでの検索をしていないので、もったいないかな、出来るようになればいいのには考えています。
- ・Eメールでの情報のやりとり、オンラインでの研修や会議が中心になっているが、個人のPCを使用しているのが、頻雑である。団用のアドレスを作っている団もあるが、4団にはその方面に詳しい人材がなく、そのままになっている。
- ・建物の構造強度に関する情報、伝統的建造物の保全保護に関する情報、空き家状況や潜在的居住者に関する情報、利活用に当たっての投資額回収計画の基礎となる統計等経済に関する情報等、それらを総合的に勘案して初めて現実的な空き家利活用計画の立案ができるのですが、町並み保存会等の民間サイドでも行政サイドでもそのような総合的な情報収集・分析等を実施していないため、少ない資源で自己収集しなければならない点。

問8-1 団体に関する情報（PR、事業の周知など）をどのようにして発信していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答可）

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	ホームページ・ブログ	10	30.3%
2	広報誌・パンフレット	9	27.3%
3	SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）	7	21.2%
4	その他	7	21.2%
5	発信していない	0	0.0%
合計			

\* その他（自由記載）

- ・会合の席で自己PR
- ・団体が所属している市町関連団体へ提供
- ・日本海新聞
- ・店頭表示、電話等
- ・口コミ
- ・地区社協だより



団体に関する情報の発信については、「ホームページ・ブログ」(30.3%)が最も高く、次いで「広報誌・パンフレット」(27.3%)、「SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）」(21.2%)となっている。（その他の記述は上記のとおり）

- 「ホームページ・ブログ」「SNS（フェイスブック・X（旧ツイッター）など）」の割合が51.5%、「広報誌・パンフレット」などの紙媒体の割合が27.3%となっており、情報収集手段と同じく、ICT（情報通信技術）を活用した手法の占める割合が大きくなっている。

問8-2 情報発信にあたり、お困りごとがありましたらご記入ください。

- ・フォロワーを増加させるのが難しい。必要な所に情報が届いているのか分からない。
- ・日々の更新等がなかなかできない
- ・市報で活動状況、現況など情報を掲載していただければ。  
無料でホームページを作りましたが、その後個人的になっているので魅力的になっていない
- ・講演会等イベント開催時ほとんど手渡し（これは最も有効ですが）していますが広く広報することは難しい
- ・広報、パンフレット発行の経費が無い・日本海新聞に記事として掲載していただく・防災頭巾の作成について助成申請したいと考えているので協力者に呼びかけたい。
- ・市のホームページに載せていただきありがとうございます。

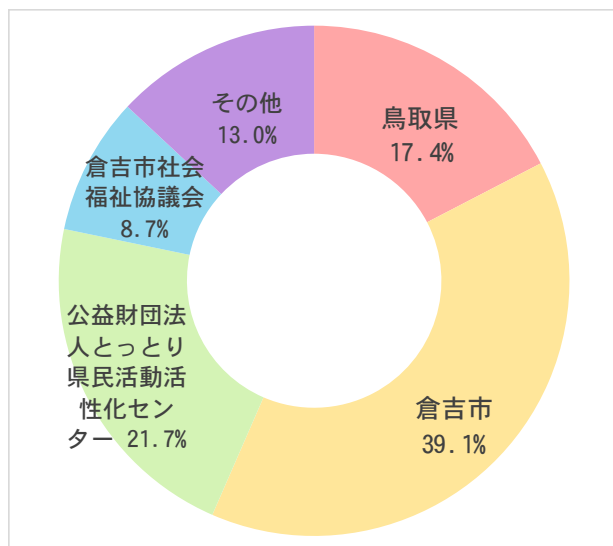
活動の支援について

問9 活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、どこに相談をされていますか。  
あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	国	0	0.0%
2	鳥取県	4	17.4%
3	倉吉市	9	39.1%
4	公益財団法人とっとり県民活動活性化センター	5	21.7%
5	倉吉市社会福祉協議会	2	8.7%
6	その他	3	13.0%
	合計	23	100.0%

\* その他（自由記載）

・同活動団体 ・特になし



- 相談先として「倉吉市」(39.1%)と回答した団体が最も多く、次いで「公益財団法人とっとり県民活動活性化センター」(21.7%)となった。昨年割合の高かった「その他」「鳥取県」は23.4ポイント減少し、概ね市内の身近な相談窓口にご相談をされている。



問10-1 「市民活動団体」として倉吉市に登録していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	登録している	20	76.9%
2	登録していない	6	23.1%
	合計	26	100.0%

問10-2 「【問10-1】1 登録している」と回答した方に質問します。

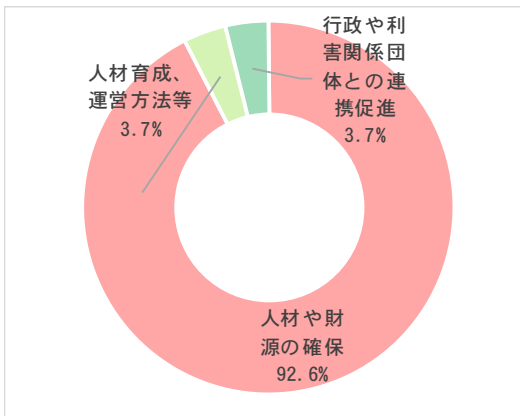
倉吉市では、「市民活動団体」として登録していただいた団体に対し、各種情報のご案内、団体及び団体活動の広報支援等を行っています。倉吉市の支援についてどう思われますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	満足している	4	18.2%
2	どちらかと言えば満足している	9	40.9%
3	どちらかと言えば不満である	3	13.6%
4	不満である	0	0.0%
5	わからない	6	27.3%
	合計	22	100.0%

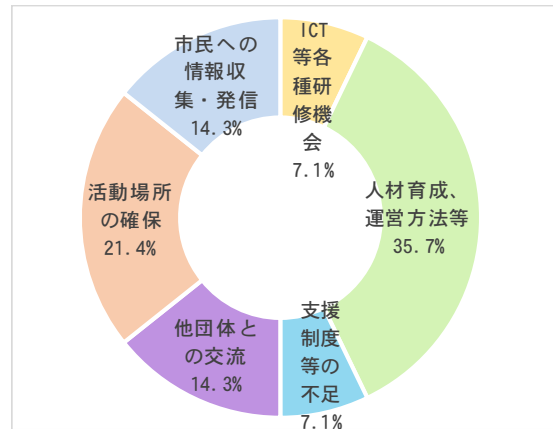
- 倉吉市の支援について「満足している」「どちらかと言えば満足している」が59.1%あり、約半数が概ね満足しているという結果になった。しかし、「わからない」も27.3%あるため、市民活動団体のニーズにあった支援が必要であると考えられる。

問11 活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、下記番号の中から当てはまる順に①、②、③に番号をご記入ください。また貴団体が抱える課題と、課題解決のために行政に望む支援策の具体的な内容についてお答えください。

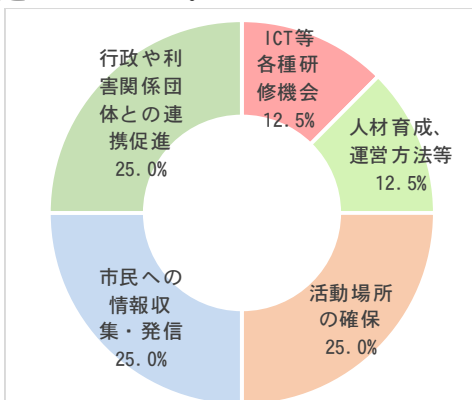
項目番号	選択項目	①回答数	構成比	②回答数	構成比	③回答数	構成比
1	人材（会員・メンバー）や財源の確保	25	92.6%	0	0.0%	0	0.0%
2	ICT等各種研修機会	0	0.0%	1	7.1%	1	12.5%
3	人材育成、運営方法等	1	3.7%	5	35.7%	1	12.5%
4	支援制度等の不足	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%
5	他団体との交流	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%
6	活動場所の確保	0	0.0%	3	21.4%	2	25.0%
7	市民への情報収集・発信	0	0.0%	2	14.3%	2	25.0%
8	行政や利害関係団体との連携促進	1	3.7%	0	0.0%	2	25.0%
9	身近な相談窓口の確保	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	27	100.0%	14	100.0%	8	100.0%



活動を進めていくうえでの最も当てはまる課題や困りごと「①」について「人材や財源の確保」(92.6%)が最多となり市民活動団体の共通の課題となっている。



活動を進めていくうえでの当てはまる課題や困りごと「②」について「人材育成、運営方法等」(35.7%)が最多となっているが、「人材や財源の確保」を除けば団体ごとに多様な課題があることが分かる。



活動を進めていくうえでの課題や困りごと「③」については大きく5つに分かれている。「市民への情報収集・発信」「活動場所の確保」は「②」に続いて多くなっている。

課題や困りごとの内容（自由記述）

項目番号	記述内容
<p>1. 人材（会員・メンバー）や財源の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員不足。</li> <li>・会員の減少。それに伴う財源（会費）の減少。</li> <li>・会員を増やしたい。</li> <li>・財源の確保：賛同型の活動のため会費運営は難しいと考えている。</li> <li>・人材：活動をリードする人材育成方法。"</li> <li>・人材確保で学校めぐりでPRができればよいと思っているところです（年に2校）。</li> <li>・新メンバー（若い人）の確保。</li> <li>・会員増強。</li> <li>・高齢と実質的活動人数不足。</li> <li>・高齢者が会員として多いので減少しています。</li> <li>・活動の輪が広がりにくい。</li> <li>・財源として寄附金や補助金に頼っているため、安定した活動が出来ない。</li> <li>・会員の固定化、高齢化。</li> <li>・人口の減少、働き方や家族の在り方の変化で若い人の人材が減ってきている。ボランティアの高齢化が進んでいる。</li> <li>・運営費の確保が困難。人件費は無料ボランティアの現状。光熱水費持ち出し。賃借料奉仕。</li> <li>・3月から2名会員が増えましたが、音訳の能力を高めるための研修を1回したが、さらにもう1回設定し、日々の活動にいかされるようにしたい。</li> <li>・立ち上げから十数年経過、会員が高齢化し活動できる人が減少。</li> <li>・地域の方に呼びかけているが協力者は少ない。</li> <li>・会員、活動人員の高齢化、次世代の参加。</li> </ul>
<p>2. ICT等各種研修機会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員が変わるため住所等の変更 資料の保存 定例会の場所の確保。</li> </ul>
<p>3. 人材育成・運営方法等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画運営が固定化しており世代交代が進んでない。</li> <li>・3月から2名会員が増えましたが、音訳の能力を高めるための研修を1回したが、さらにもう1回設定し、日々の活動にいかされるようにしたい。</li> </ul>
<p>4. 支援制度等の不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所ワークの確保。</li> </ul>
<p>5. 他団体との交流</p>	<p>(記載なし)</p>
<p>6. 活動場所の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたと私の集合所」を運営しているが、光熱費、上下水道の経費支援。常に10人内外の利用。1,000-1,700円。弁当持参。</li> <li>・ボランティア活動団体のスペースがあれば助かります。学校で言えば各クラブハ</li> </ul>

	<p>ウスのようなもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は倉吉文化活動センター（リフレプラザ）を活用でき助かっている。継続性に不安がある。</li> <li>・会場等の確保。</li> </ul>
7. 市民への情報 収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSをつかっていない家庭にどうやって情報を届けるのか。</li> <li>・具体的な情報発信方法が見だしにくい問題。</li> </ul>
8. 行政や利害関 係団体との連 携促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の主体的な関与が求められる分野であるが、必ずしも行政主体の体制になっていない。</li> <li>・意見交換の場について曜日や時間、方法など仕事をもっていても参加しやすくして欲しい。</li> <li>・社会福祉協議会は常に位置的に関連しており、場所を利用させていただいている。音読、コーラス月一回。</li> </ul>
9. 身近な相談窓 口の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立を防ぐ窓口を身近の民間の人材に委託して欲しい。</li> </ul>

行政に望む支援策の具体的な内容（自由記述）

項目番号	記述内容
1. 人材（会員・メ ンバー）や財源 の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や県全体で、舞台芸術を身近に感じるようにしてほしい。保育園や小学校でも公演をして保護者の理解が深まると良いと思う。</li> <li>・現在は県のボランティア支援政策を受けているが、これ以外の支援があるのか知りたい。</li> <li>・リーダー人材育成方法セミナー等があるのか、或いは、講師紹介などが知りたい。</li> <li>・団体案内や募集案内の協力</li> <li>・高齢者だけでなく、若い世代への広報活動。</li> <li>・イベント活動に必要な経費だけでなく、活動を維持していくための補助金を作っていたきたい。</li> <li>・特に地域づくり支援課へはありません</li> <li>・特になし、行政が何を援助してもらえるのか分からない。</li> </ul>
2. ICT等各種研修 機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体など共有して一定の場があると良い。そこから交流や共有でき活動が広がる。</li> </ul>
3. 人材育成・運営 方法等	<p>（記載なし）</p>
4. 支援制度等の不 足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金の補充。</li> </ul>

5. 他団体との交流	(記載なし)
6. 活動場所の確保	・光熱水費の支援をお願いしたい。
7. 市民への情報収集・発信	・困っているテーマ毎に検索できるWEBページを作って欲しい
8. 行政や利害関係団体との連携促進	・平日の昼間以外も考えて欲しい。 ・空き家問題、特に特殊事情が多い伝建地区内の活動に特化しているが、基本的には行政主体で進めざるをえない事態になっている。市の抱える課題の一つとして、総合計画等の計画に施策を反映した上で、市としての取組をお願いしたい。
9. 身近な相談窓口の確保	(記載なし)

- 回答内容を見ると「人材や財源の確保」が市民活動団体の活動における最大かつ共通の課題となっている。また、②、③の回答を合計すると「人材育成、運営方法等」(48.2%)「活動場所の確保」(46.4%)が多い。人材に関する課題に限らず、活動拠点も市民活動団体の共通の課題であると考えられる。



協働のまちづくり助成事業について

〈倉吉市協働のまちづくり活動助成事業とは〉

公共的課題を解決する活動に参画している市民活動団体の活動を支援することにより、本市の市民活動の促進を図り、もって市民参画と協働のまちづくりを推進することを目的として、当該団体が行う活動費用に対して助成金を交付するもの。

問12-1 上記事業を利用したことがありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	利用したことがある	11	42.3%
2	利用したことがない	15	57.7%
	合計	26	100.0%

問12-2 「【問12-1】 1 利用したことがある」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業は継続していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	継続している	6	54.5%
2	継続していない	5	45.5%
	合計	11	100.0%

- 事業の継続により、事業成果の定着や事業の拡大、参加者や地域住民の課題意識が高まるため、事業の継続に繋がる支援が求められている。

問12-3 「【問12-2】 2 継続していない」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業を継続・発展するために必要な要素について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答可・記載がないものは除外）

項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	活動資金の継続的な確保	5	38.5%
2	活動人員、協力者の確保	4	30.8%
3	活動に対する理解	3	23.1%
4	団体、事業のPR	0	0.0%
5	地域や企業、行政機関との連携	1	7.7%
6	その他	0	0.0%
	合計	13	100.0%

- 事業を継続・発展するために必要な要素については、「活動資金の継続的な確保」(38.5%)が最も高く、次いで「活動人員、協力者の確保」(30.8%)「活動に対する理解」(23.1%)となっている。

問12-4 今後、上記事業を利用する計画はありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

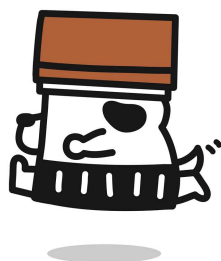
項目番号	選択項目	○回答数	構成比
1	はい	7	33.3%
2	いいえ	14	66.7%
	合計	21	100.0%

- ▶ 市民活動団体の求める支援策や社会の変化を捉えながら、公共的課題の解決に向けた活動に取り組む団体の活動促進に繋がる支援が求められている。

問12-5 「【問12-1】2 利用したことがない」と回答した方に質問します。

上記事業のどのような点に魅力がありませんでしたか。

- ・予算規模に見合う活動にするとかなり小規模にしなければならない。助成金を考えれば事務所としての持ち出しも多く発生することが想定される。
- ・全員が高齢となり若い人の入会が難しい。
- ・若い人が進んで環境に関心を持ち、進んで入会して社会のため役立つような教育が必要と特に考える。
- ・書類作りが面倒。
- ・当団体の活動にあった助成ではないと感じた。
- ・趣旨は理解できるが、行政の担当部署はどこか、どの程度の助成交付など。
- ・団体内の人数が少なくなり、活動面で制限をしていることが多くなった。
- ・地域との関わりを大切に考えています。市のさらなる協力をお願いします。
- ・存在を知らなかった。案内広報がどこにも届くようにしてほしい。
- ・知りませんでした。
- ・コロナ明けで現在の活動は小規模で進めています。今後活動が軌道にのり、多くの活動費を必要とする時期がくればぜひ活用させていただきたいです。
- ・私たち自身に利用する能力・知識不足。



## その他

問13 市民活動団体の活動を進めていく上で、ご意見や将来的な展望がありましたらご記入ください。

- ・現在、観光のPRにもなっている「玉川」はどうあるべきか、考える時期になっていると思います。長い期間の活動の中でマンネリ化の様相も伺えます。また、ゴミのポイ捨ては相変わらずです。23町内の町民が参加しているにも関わらずゴミ問題は続いています。本来であれば「玉川」を市外から訪れた方に自慢と解説が出来るはずです。
- ・倉吉にはこれといったものがないのではなく、少し深く知る努力が欲しいと感じています。
- ・特になし
- ・リフレプラザの使用料への助成があると助かります
- ・ますます高齢化していく倉吉市ですが、誰もが楽しい一日を過ごすことができるユニバーサルスポーツを普及していきたいと思っています。しかし、活動資金（事務所等）が少ない。クラブ等に行政機関に関わっていただき、連携してもらえばと思います。アイデアはたくさんあります。資金がない。
- ・非営利活動に参加者が少なくなっている気がします。
- ・他グループの方との交流をしてみたいと思っていますところ です。
- ・伝建地区の空き家や要補修物件の問題は深刻化しており、2023年4月の民法940条の改正によって、その解決のためのかなりの負担が将来の市財政に直撃しかねない状況であると考えています。従来の本団体の活動では課題の大きさに比して解決力提供に時間がかかりすぎてしまうということで、町並み保存会と合併し、保存会内の保存・活用部会として活動が移行しつつありますが、行政も含めた、より大きな取組として実施できるようになることを目指して活動しています。
- ・担当課と連携していけたらありがたいです。
- ・市民活動団体の関係者と交流の機会があれば。特に経理関係者と運営について学んで（特に財源について）みたい。NPO法人が任意団体表面だけの交流ではなく真剣に市のために、市民のために献身的に動くためには、無償ボランティアで良いのか考える時が来ている。苦悩の毎日である。現在、人はタダ、家も無償で使用、原材料も支出。会費で補えるものは事業の経費。講師謝金も寸志。交通費も消耗品、コピー代も暖房費優先で寄付していただいている。これでいいのか？反省しきり。「会費は払わないけどさんかするだけでもいいでしょ」と言う会員もあり、苦悩の連続。この心も大事にしたいが無い袖は振れないのが現状。※規約で会費を払わない物は会員では無いが人は来る。【将来的な展望】「不登校児童、生徒の学習支援」を実施したい。現在は高齢者を主に対象としているが、昨今では不登校児童が見受けられる。学校になじめないのか過去にも数人対象者がある。習字を学ぶ機会を与えたことで、ふと学校に通えるようになり現在小学校の先生として活躍している例があるので書道が不登校から立ち直らせた。また、発達障害の子どもがある時、不登校になったが、書道で立ち直り、今社会で公務員として活躍している。現在、3人の子どもに英語指導をしている。外国から帰国している友人の献身的指導協力である。いずれ「不登校」という名称が消える時が来ることを願っている。
- ・倉吉市が更に暮らしよい街になれるように、傾聴ボランティア活動を通して貢献できればと思っています。
- ・活動状況や会員募集について広報誌に無料掲載してほしいです。
- ・地域の環境保全などへの自主的なボランティア参加は年々減少している。地域の里山は荒れる一方です。



倉吉市市民生活部地域づくり支援課 令和5年12月発行  
〒682-8633 鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1  
TEL : 0858-22-8159  
FAX : 0858-23-8230  
E-mail : simin@city.kurayoshi.lg.jp